

一般財団法人 河合隼雄財団 2022年度 事業計画書

I. 基本方針

河合隼雄の知見を受け継ぎ、現代社会を生きる人々のところを豊かにし、日本文化の発展に寄与する事業を行う。以下の3つの事業を中心に学術・文化・芸術の発展に寄与する活動を推進する。

- (1) 「物語」という視点からみて学術・文化・芸術としてすぐれた作品に河合隼雄物語賞・河合隼雄学芸賞を贈賞する。
- (2) 河合隼雄の著作や作品を財産として管理する。
- (3) 広く一般市民を対象として、文化・芸術の振興、日本文化の発展などを目的とした企画を実施する。

II. 事業内容

1. 贈賞事業

[河合隼雄物語賞・河合隼雄学芸賞選考会と授賞式・授賞パーティーの企画・運営]

第十回河合隼雄物語賞・河合隼雄学芸賞について、2022年6月6日に選考会を開催し授賞作を決定、2022年7月8日に授賞式・授賞パーティーを開催するという計画に基づき、企画・運営を進め、選考と顕彰を行う。また2023年の第十一回に向けて、候補作の絞り込み作業を財団内で進めていく。

2. 知的財産管理

[河合隼雄の著作権管理]

河合隼雄の著作権について、昨期より当財団が管理を行うことになる。河合隼雄の著作物の外国語での出版に関わる業務およびプロモーションを行う。

[河合隼雄関連資料の整理]

論文やコラム、新聞記事など様々な形式で残っている河合隼雄の作品を、公刊・発表に向けて収集・整理し、リストを作成、カテゴリー分類などを行い、アーカイブ化する作業を、昨期に引き続き進める。

[財団ホームページの整備]

日本語・英語の財団ホームページを活用し、国内外に財団の活動を発信していく。ソーシャルネットワークワーキングサービス等を活用し、河合隼雄関連の情報についても広く発信する。

3. 文化事業

[河合隼雄関連イベントの開催]

財団のコンセプトである「物語」をキーワードに、学術・文化・芸術の発展に寄与するイベントを第十回河合隼雄物語賞・学芸賞記念講演会として実施する。東京にて、岩波現代文庫20周年記念の共催として開催するイベントなどは、新型コロナウイルスの影響で保留となっている。

[出版・翻訳支援]

河合隼雄のすぐれた論文・論考をまとめた『新版心理療法論考2』の出版に向けて企画・編集を進める。

[その他]

河合隼雄と関連のあった文化人との共同企画等を行う。他団体と協働して行う場合もある。

Ⅲ. 資金計画

[財産運用について]

財産運用規定に則り、運用を行う。

[寄附について]

財団に設置された寄附口座において、寄附金を募る。

以上